

■ 議長記者会見概要

日 時：平成26年6月23日（月） 13：29～13：41

場 所：県政記者クラブ（県庁内）

出席者：山下力議長、井岡正徳副議長、国中憲治広報委員会座長



井岡正徳副議長

山下力議長

国中憲治広報委員会座長

〈案件〉

（１） 6月定例県議会開会にあたって

6月定例県議会開会にあたりまして、議長就任以来1カ年が経過しました。毎日、忙しい思いをしましたが、過ぎてみればあっという間でした。

この一年間、皆さんの多くのご協力をいただきましてつつがなく今日までこれたことを感謝申し上げます。1年間の経過の中で様々な重要な問題に関わらせていただきました。特に印象に残る三つの点を紹介させていただきます。

一点目は、昨年、議長就任早々の9月定例県議会に、精神障害者の人々から医療福祉制度を自分達も利用できるよという請願がございました。同時に、障害者団体から障害者差別をなくす県条例を作るよという請願もありました。この請願2件が全議員の賛成で可決されました。画期的な出来事であり、私にとっては非常に嬉しい動きでございました。その動きは12月定例県議会での代表質問、更に2月定例県議会での執行部からの予算提案に力強く反映されまして、精神障害者の福祉医療制度において医療費助成を拡大すると知事がかなり踏み込んだ方針を出しました。大変感動したところでございます。

この医療費助成制度については、本年10月1日からの施行。実施主体が市町村でございますが、知事に対して市町村もこぞって精神障害者への福祉医療制度の適用を県の主導でやってもらいたいという請願で、繰り返しの要請もあったわけですから、そういう経過もございますから、財政事情が厳しい折ではございますけれども、知事が踏み込んだ方向を示したわけですから、是非とも全市町

村が足並みを揃えて１０月１日から実施できるよう願っています。

また、障害者差別をなくす条例につきましては、来年４月１日から施行できるように、今、関係団体を集め、条例の内容について県が検討していると聞いております。私にとっては非常に印象深い出来事でございます。

二点目に、議会として印象深いことは、平成２１年に「がん対策推進条例」を議員提案で制定いたしました。そういう経過の中から「奈良県議会がん対策推進議員連盟」が組織され、現在議員全員が参加しております。去年は１０月１０日の「がん向き合う日」に焦点を合わせ、議会も啓発活動に積極的に参加してまいりました。是非ともこの取組を更に前進させていきたいと思っています。

三点目は、国際交流において、１月に行われたベトナムのフートー省と奈良県との友好連携の覚書（友好県省関係の発展に関するＭＯＵ）の締結式に議会の代表として立会をさせていただきました。奈良県からベトナムへの企業進出もかなりの数にのぼっておりますし、今後精力的な交流が展開できるのではないかと考えています。また、今年の８月に県が予定しております、東アジアサマースクールにおける討論会にも、ベトナムからたくさんの若い学生が参加してくれるものと思います。更に前進させていけたらいいなと思っています。

（２）議員定数等について

この６月定例県議会では、来年度の統一地方選挙に向けた定数改正の条例案を提出します。議員定数等検討委員会を立ち上げまして、精力的な討論を頂戴いたしまして過日その答申をいただきました。その答申に沿って条例案を提案しているところです。ご案内のように議員定数は４４人、各選挙区は従来通りということで答申が出されています。

今までは「郡・市」を中心の選挙区の制定でございましたけれども、今回法律の改正によりまして「市あるいは町村」で選挙区を制定することになりました。実質的には、作業の中では「郡」はなくなったのですが、選挙区の名称について「郡」を使用してもいいという国の方針でございますので、実質的には、これまで使い慣れた選挙区の名称を使っているということで大きな変化はございません。なぜなら、前回の改正がかなり大胆な改正で、改正案が定例議会で否決され、臨時議会を開いてもう一回やり直し、大胆な改革を行いましたので、全国的にも現在の、県民の数に対する議員の数、等々はむしろ厳しく精査された内容になっております。今回の検討委員会では今の段階でこれでいいのではないかとこの結論になったとお聞きしております。

（３）高校生議会の開催について

第３回目となります高校生議会を今年も８月２１日（木）に開催いたします。前回、前々回は高校生の諸君から非常に積極的な課題提起をしていただきました。私達議員も耳を傾けなければならない視点も数々ございまして、今年も大いに期待しているところでございます。

(4) 燈花会議場見て歩き事業について

また、燈花会（８月５日～８月１４日）の際には議場見て歩きの取組も続けてまいりたいと思っています。また、議場を使つての「議会ミニ音楽会」も今年も予定しているところでございます。

〈質疑応答〉

記 者：今定例会での役員改選のスケジュールはどのようになっていますか。

議 長：６月２６日の議会運営委員会で役員改選の手順を協議し、決定する予定です。

記 者：議員定数等検討委員会の答申では、４４人の議員定数や選挙区等は従来と同様となっていました。各選挙区の呼び名も含めて全部従来通りと考えてよいのでしょうか。

議 長：基本的には従来通りです。今までは「山辺郡・奈良市」選挙区でしたが、「奈良市・山辺郡」選挙区と呼び方が替わります。また、「高市郡・橿原市」も「橿原市・高市郡」選挙区、「宇陀郡・宇陀市」も「宇陀市・宇陀郡」選挙区と市が先になります。市町村名を全て載せると長い選挙区になりますので、郡でまとめられるのなら今まで通りの名称で良いのではないかということになりました。